

COLUMN

連載
86

仕事について考える

札幌大谷大学社会学部
教授 平岡祥孝

札幌は ライラックの季節
を迎えた。ようやく北海道らしい花を楽しむ季節です。

いよいよ今年前半の就職戦線もうやく北海道らしい花を楽しむ季節です。山場を迎えるとしています。早くも内定を得た学生もいることでしょう。他方、何度も「お祈りメール」を送られた学生も少なくらずでは。焦ってはいけませんね。たつた1つだけの自分自身の人生ゆえ、社会者と比較することに果たして意味があるのでしょうか。生涯現役社会とは、少なくとも50年間働く社会ではないかと、私は解釈しています。ならば、「バスに乗り遅れても結構。ただし乗り間違いは困る」と思います。言い換えば、早い内定を得てしても、早期離職するならば、何をか言わんや。

30年にわたって学生の就職支援に携わってきた初老の私学教員の経験に照らせば、就職活動から逃げることなく、素直さと謙虚さを持つて「自分でつくり」に励むことを続けていけば、必ずや学校社会から職業社会に円滑に移行することができます。あくまでも私の独断と偏見ですが、北海道の若年層の離職率、とり

上級学校に進学することは、職業社会に進むまでの猶予期間ともいよいよ今年前半の就職戦線もうやく北海道らしい花を楽しむ季節です。山場を迎えるとしています。早くも内定を得た学生もいることでしょう。他方、何度も「お祈りメール」を送られた学生も少なくらずでは。焦ってはいけませんね。たつた1つだけの自分自身の人生ゆえ、社会者と比較することに果たして意味があるのでしょうか。生涯現役社会とは、少なくとも50年間働く社会ではないかと、私は解釈しています。ならば、「バスに乗り遅れても結構。ただし乗り間違いは困る」と思います。言い換えば、早い内定を得てしても、早期離職するならば、何をか言わんや。

上級学校に進学することは、職業社会に進むまでの猶予期間ともいよいよ今年前半の就職戦線もうやく北海道らしい花を楽しむ季節です。山場を迎えるとしています。早くも内定を得た学生もいることでしょう。他方、何度も「お祈りメール」を送られた学生も少なくらずでは。焦ってはいけませんね。たつた1つだけの自分自身の人生ゆえ、社会者と比較することに果たして意味があるのでしょうか。生涯現役社会とは、少なくとも50年間働く社会ではないかと、私は解釈しています。ならば、「バスに乗り遅れても結構。ただし乗り間違いは困る」と思います。言い換えば、早い内定を得てしても、早期離職するならば、何をか言わんや。



【ひらおか・よしゆき】札幌大谷大学社会学部教授。英国の酪農経営ならびに牛乳・乳製品の流通や消費を研究分野としている。女子学生の就職支援やインターンシップ事業に携わってきた経験から、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、仕事論、生涯教育などのテーマを中心に、講演やメディアでも活躍。

は、耳を傾けることならば、授業に集中することで訓練されます。理屈は「失敗しても許される」とだと思います。ですから、遊びに対する貪欲に、そして主体的に積極的に挑戦して欲しいですね。アルバイトあるいは課外活動は、あくまでも上級学校生活においては学びの周辺部でしかありません。もちろんアルバイトを否定するつもりは毛頭ありません。個々人の事情もあるでしょう。また、アルバイトは貴重な体験であることも疑う余地はありません。

ですが、本来の仕事の視点から見るならば、アルバイトはアルバイトなりの仕事の水準でしかありません。コンビニエンスストアのアルバイトを例に挙げるならば、そのアルバイトでは意思決定、判断業務、店舗運営には関わらないのではないでしょうか。

高校生のアルバイトの背景も経



みんな
げんき！

厚内幼稚園のみんな

毎日のプレゼントを作りました。

大好きなお母さんの
顔を描いたい、
カラフルなテープで
模様付けをして
可愛い小物入れが
完成しました。

町長室から

先月号

で野火が発生したと書きましたが、それから連続して4件の野火災が発生してしまいました。

火災は一瞬にして財産を消失し、生命を危険にさらしてしまいます。平成30年度の防火標語は『忘れてない? サイフにスマホに火の確認』です。

特に強風下での火の取り扱いにはこれからも十分な注意が必要です。消防団の第1分団と第4分団の幹部交代がありましたが、退任される幹部の方にはこれまでのご苦労に感謝申し上げますとともに、昇任されました幹部の方には今後もさらに予消防活動と万が一の際には速やかな消火活動を行うための訓練に指導力を発揮されます事を期待申し上げるところです。

4月は暖かい日が続いて浦幌町でも例年より早くゴールデンウイーク前に桜が開花しましたが、一転して5月のゴールデンウイーク中から、低温注意報、更に霜注意報まで出るような天候

不順で、例年であれば播種作業で大忙しの農家の皆さんには、作業が遅れ気味で大変なご苦労をされました。中旬以降の天候回復を期待したいものです。

観光協会主催の「第43回ふるさとのみのり祭り」が9月23日

に開催されますが、今年はHBCラジオの公開番組で、司会者は婚活でもお世話になりましたお馴染みのヤスさんに来ていただき、ゲストには演歌の山川豊さんとバツトルズと決定されました。

バツトルズという名前のバンドは皆さんあまりお聞きになつた事が無いかと思いますが、札幌にライブハウスを持ち、今も輝きを失わないビートルズサウンドを忠実に再現するバンドとして、音楽ファンにはかなり知られた存在のようです。

今年も多くの方が来場され、秋の1日を楽しんでいただきたいたいと思います。

平成20年に発足した「うらほろスタイル推進地域協議会」は「地域への愛着を育む事業」「農村つながり事業」「子どもの想い

実現事業」「若者のしごと創造事業」「高校生つながり発展事業」と現在5つの事業をおこなっていますが、それぞれが発展していく中で複雑化、多様化してきため、課題を整理し解決を図るために「NPO法人うらほろスタイルサポート」として、再出発する為に解散することになり、解散総会が行われました。

今後は更なる高みを目指して、学校・浦幌学園・上浦幌学園が中心に行なう事業とNPOが行なう事業を区分けしながらも連携して進めていくことになります。トランプ大統領が今度はイラン核合意を破棄したという報道が飛び込んできました。

イランに対し完全な経済制裁を課すという報道です。

強行的な言動から北朝鮮の譲歩を勝ち取ったという思いから、更にその姿勢を貫こうとしているのでしょうか。

核兵器の再開発競争の激化が心配されるとともに、原油価格の更なる高騰で、生活に影響を及ぼすかが懸念されるところで

また、急にハンドルを切った北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)氏の動向が連日報道されていますが、本意はどこにあるのでしょうか。

少なくとも表面的には核の脅威からは開放されたかのようですが。

今後は米朝会談の行方が鍵を握りますが、単なる腹の探りあいだけで終わることなく、拉致被害者問題だけは解決の糸口を見つけてもらいたいものです。国内では新潟の小2児童が殺害される痛ましい事件が発生しましたが、身近にある危険を改めて感じさせる事件であり、安心な町づくりが必要な事を再認識させられました。

国会はようやく動き出し、国内外を問わず難問山積みの状況ですが、町民の皆様には季節の変わり目を迎えており、気温の変化などに十分気をつけて健康を維持されるようにしていただきたいと思います。

浦幌町長 水澤一廣